

infomation

ホームページが新しくなりました!
-欲しい情報が探しやすい!コンテンツも充実しました-

-欲しい情報は全てここに集約-
トップメニューバー-



-お知らせなどの最新情報はここ!-
イベント情報や重要なお知らせはここでチェック!

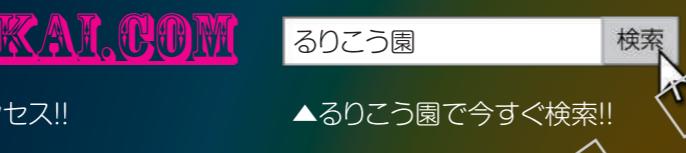


[HTTPS://RURIKOUKAI.COM](https://rurikoukai.com)

◀スマホでQRコードを読み取って今すぐアクセス!!



-YouTubeチャンネル始動!-



-Instagram日々更新中!-

るりこう園 検索
▲るりこう園で今すぐ検索!!

編集後記

今号は、私が作成する広報誌としては1年半ぶりになります。作成していくなかで思ったことが、ずいぶんとるりこう園の取り組みや活動の幅が広がったなということです。コロナ渦で納涼祭や運動会、地域の催しへの参加をやむなく中止せざるをおえない状況ですが、その状況下で生まれた新たな活動や取り組みが、利用者の楽しみの幅を広げたように思います。まだまだ先行きが見えない状況が続きそうですが、それに悲観することなく、個々がいま出来ることを考え実行することで、新たな発見があったり自分自身を成長させるきっかけになるのではないかと思います。

お風呂場の改修してます!

令和3年7月下旬より、るりこう園のお風呂場の改修工事が始まりました! 今回は、既存のお風呂場と合わせて新たな棟を増築し、今までより広く、また利用者に快適に入浴していただけるようになる予定です。完成は令和4年3月頃で、現在は既存のお風呂場の解体作業が終わり、増築箇所の基礎工事が行われています。



▲解体工事中の旧入浴場。手前には新築棟の基礎。

社会福祉法人
瑠璃光会

障がい者支援施設 るりこう園／福祉ホーム サンライズ野上野
〒528-0224 滋賀県甲賀市土山町野上野497

Tel:0748-66-1345 FAX:0748-66-1065

E-mail rurikouen@ac-koka.ne.jp

障がい者支援センター かがやき／きらっと／ろーぶ
〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野1978-7

TEL:0748-65-2717 FAX:0748-65-2718

本紙に掲載した写真は、利用者および家族に了承を得ています。



TOPICS るりこう園イルミネーション るりナリエ

- 今年はさらにパワーアップして開催!! -

- Contents -

P2-3 るりこう園イルミネーション『るりナリエ -2021』特集

P4 通所の日常

P5 栄養士だより『ご当地グルメツアーア』／風呂場改修工事

P6-7 かがやき・きらっとの日常

P8 充実のコンテンツ!ホームページが新しくなりました!

Rurinari[e]

ILLUMINATION
- 2021 -

るりこうえんイルミネーション るりナリエ -2021-

New!

るりナリエ2021では光のトンネルが出現！？

今年のるりナリエは、渡り廊下が光のトンネルに大変身！！上の写真は仮設置のときのもの。ここからさらにグレードアップします！！



Instagram更新中！

るりこう園公式インスタグラムでは、日々の様子を随時更新しております！

るりナリエ企画担当職員
よりヒトコト

光には人を惹きつけるものがあり、暗闇を照らす光には安心感を与えてくれる効果が期待されます。このコロナ禍がいつまで続くのかと不安を抱いている利用者、職員にとっての「光」となるようにと思いを込めて「るりナリエ」を企画しました。その狙い通り「るりナリエ」は利用者の園生活に優しく寄り添うよう明かりを灯してくれました。

～びわ湖をイメージした冬の夜空を彩るイルミネーション～
新型コロナウィルス感染症が猛威を奮い、例年行っていた行事も軒並み中止となった2020年。そんな状況下で利用者に少しでも楽しく過ごしていただきたいとの思いから始めた「るりナリエ」も今年で2年目を迎えました。12月3日に点灯式を開催し、式には甲賀市健康福祉部よりご来賓を招き、甲賀市長様より励ましのメッセージを頂きました。また、地元のケーブルテレビも取材に来られました！2年目の「るりナリエ」はさらに渡り廊下に光のトンネルが出現するなど、まだまだパワーアップの予定です！



プロモーションムービー公開中！
Youtubeにて『るりナリエ』のPVを公開中！ぜひ動く「るりナリエ」をご覧下さい。



渡り廊下から見える「るりナリエ」

16時になると点灯をはじめます！点滅したり光が流れる等、動きのあるイルミネーションで利用者も大変喜ばれていました！

Topics

通所だより ～通所の活動～

日課活動でハロウィンクッキングをしました!

新型コロナウイルス感染症対策の為の自粛生活が続いていましたが、10月に警戒ステージが下がってきたことを受け、久しぶりに皆でクッキングをしよう!ということになりました。時期もハロウィンと重なり、サツマイモが手に入ったのでスイートポテト作りに挑戦。サツマイモをつぶす作業は根気がいりましたが、皆さん丹念につぶしてくださいました。アルミカップに入れてレーズンでお化けの顔にデコレーションし、トースターで焼くことしばし。通所の部屋ごと甘い香りに包まれ、皆さんで「おいしい!」と言い合いながら食べました。



クリスマスのリース作りもしました!

ハロウィンが過ぎればもうクリスマス…1年あっという間だったなあと話し合ながら、クリスマスリースを作りました。枠となっているツルは、天気のいい日に行く散歩コースの傍に生えていたものです。リボンテープを巻きつけたり、松ぼっくりや毛糸玉をくっつけたりして装飾しました。中には折り紙で作った梅の花や南天の実など貼り付けている方もおられ、このままお正月まで飾れるのでは…というデザインのリースも。いずれにしてお飾つただけで賑やかな雰囲気です。



新しい職員のご紹介

11月から看護師として働いている中村佳子(なかむらよしこ)です。看護師としては30年余ですが、今は新しく来たるりこ園で、フレッシュな気持ちで仕事に臨んでいます。趣味は園芸で、休みの日は息抜きにずっと庭をいじっています。好きな音楽はジャズ!推しのグループは特に、色んな曲を聴いています。コロナ禍が明けたら、国内で良いのでゆっくり旅行に行きたいなあと思いつつ、日々頑張っています。園の利用者さんと楽しく活動しながらお仕事していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



Topics

栄養士だより

～ご当地グルメ～

コロナ禍で思うように外出できなく、利用者にゆりこ園にいながら旅行気分を味わっていただけるよう、日本全国のご当地グルメを食べつくそうという企画を始めました。企画内容としては、現在月に二、三回ほど日本各地の名物料理を提供するといったものになっています。



料理の場所のクイズを作成し掲示板に貼りだし、利用者の方々に予想してもらいます。そして、提供の一週間に後にクイズの答え・名物料理の解説・栄養価についてなどの内容を掲示します。

これまで提供した名物は料理の写真。日本地図に貼り、どの県の料理かわかるようにしています。また、電車で日本旅行をしている気分になります。提供していく毎にぎやかになつていく地図に、「あれが美味しいからまた食べたい」「今度はどこのご当地料理なのかな」と利用者さんにも楽しんでいただけています。



これまで提供した名物は料理の写真。日本地図に貼り、どの県の料理かわかるようにしています。また、電車で日本旅行をしている気分になります。提供していく毎にぎやかになつていく地図に、「あれが美味しいからまた食べたい」「今度はどこのご当地料理なのかな」と利用者さんにも楽しんでいただけています。

旬食は、チーズかぼちゃコロッケ、彩りサラダ、ミルクスープ、夕食には鶏肉とカブのトマト煮、アイルランド風ホーテサラダ、かぼちゃプリンを提供し、利用者さんにハロウインの雰囲気を楽しんでいただきました。

今後も新たなご当地料理や、季節の行事食などを積極的に取り入れ利用者の方により食事に楽しみをもっていただけるよう頑張っていきたいと思います。



コロナ禍で思うように外出できな

日本地図に貼り、どの県の料理かわかるようにしています。また、電車で日本

これまで提供した名物は料理の写真。

日本

これまで提供した名物は料理の写真。

かがやき NEWS

昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響で生活が大きく変わってしまいました。かがやきでの過ごし方も変わり、利用者さんにもたくさんの我慢やストレスを強いていることだと思います。「マスクをする」「手を消毒する」「いつも傍にいた友達との距離が離れる」「お出掛けもできない」等、たくさんの方が変わっていましたが、嘆いてばかりもいられません。コロナ禍でもかがやきに通所することで少しでも楽しく、笑顔が増えるように、外出できなくても季節を感じてもらえるように日々の活動や行事を工夫するように心がけています。

ハロウィンパーティー2021

数十年前までは、あまり馴染みのなかったハロウィン。ここ数年で市民権を得て、季節の風物詩に仲間入りしたのではないでしょうか?かがやきでも毎年、ハロウィンの催しをおこなっていますが、今年は例年になく、大掛かりなものになりました。手作りの紙芝居や福笑いなど、入念な準備のおかげか、田頃見られないような表情も見ることができました。



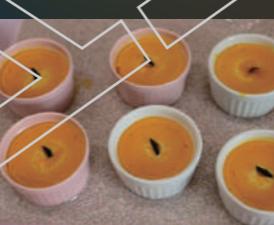
職員特製大型紙芝居



ハロウィン版福笑い



宝さがし



かぼちゃプリン

利用さんは様々な障がいをお持ちです。皆さんに楽しんでいただけるように工夫していることは「見て楽しむ」「触って楽しむ」「香りを楽しむ」「味を楽しむ」等、たくさんのがん覚で楽しめるようにプログラムを考えるようにしています。



きらっとかわら版

きらっとでは、療育活動で「制作」に力を入れています。ねらいとしては、題材を形にして完成までの過程や完成したときの達成感を味わうこと、手指巧緻動作の訓練などです。基本的には週替わりで、月に2作品つくるようにしています。

題材は季節に合ったものとし、それに使用する材料も極力買ったものではなく、廃材を再利用したり、自然の中から拾い集めたりするよう心がけています。とは言え、活動時間も放課後の短い時間で、さらに来所の頻度も利用者によっては2週間空くこともよくあることです。進捗状況もまちまちですが、ものを作つくる以外にも職員や他の利用者とのやりとりを楽しんでもらえればと思いながら取り組みを進めています。同じものを作ついていても、やはりそこは個性ができるところで、絵の具が豪快に飛び散ることもしばしば。一方では、睡魔に負けて、「あとはお任せします…。」という子も。その時は職員と一緒につくるのですが、大人が携わることで見本のような画一的な、言い方を変えれば面白みのないものが出来上がってしまい、そのあたりは支援者としても悩ましいところではあります。また、出来上がった作品は廊下に展示して多くの人に観てもらっています。たまに作品を観た人から「もうこんな季節かあ…。」と聞くこともあります、目を向けてもらっているという事が嬉しいです。

